

ぞうえん 山梨



ほたるみ橋公園

年頭のごあいさつ	2 頁	工事実績紹介／シニアワーク植木管理講習会	12 頁
協会の動き	3～5 頁	樹木匠	13 頁
組合の動き	5～6 頁	セネガルの野菜畑を守る植林	14～15 頁
協会委員会の開催	6 頁	テールライト	16 頁
表彰等	7 頁	花アラカルト／お知らせ	17 頁
ほたるみ橋公園／平成15年度ミニガーデンコンテスト	8 頁	みどりのさんぽ道／古木／メモ	18 頁
当協会造園事業功労賞 受賞者のことば／		協会員・組合員めぐり／年間予定表	19 頁
当協会員の造園関係資格取得状況	9 頁	協会員・組合員名簿	20 頁
青年部の活動／平成15年度事業	10～11 頁		

(社)山梨県造園建設業協会・山梨県造園建設業協同組合

年頭のごあいさつ

(社)山梨県造園建設業協会

会 長 齊藤 隆夫

新年あけましておめでとうございます。

2004年のあたらしい幕開けと共に、協会員の皆様方には益々ご健勝にて輝かしい新年を迎えられましたこととお慶び申し上げます。

昨年中は県をはじめとする関係機関、諸団体の関係者から暖かいご支援、ご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

私どもの協会は設立以来28年目を迎え、この間会員は総力をあげ造園技術の向上、技術者の育成を図りつつ、地域の環境美化あるいは環境保全に問題意識を高めて取り組んでまいりました。お陰様で公益法人として組織の強化が図られてまいりましたが、あいかわらず日本経済は長引く景気低迷の長いトンネルからなかなか抜け出すことが出来ず、加えて公共事業の見直しや削減など、先行き不透明な材料ばかりで我が造園業界にも多大な影響をおよぼしております。

しかしながら、このような厳しい社会情勢にあっても、皆様方におかれましては各企業毎に改革目標を掲げ、無駄を省き、新しいものを見出す工夫によってこの難局に立ち向かっていただきたいと思います。

昨年、建設業法の一部が改正され、造園工事の内容に「道路、建築物の屋上等を緑化し、又は植生を復元する工事」が追加されました。

屋上緑化につきましては本県にも事例はありますが、制度化によって一層促進されることが予想され、当業界にとって明るい材料でございます。

また、校庭の芝生化が注目されてきておりますが、文部科学省では屋外教育環境整備事業として公立の小学校、中学校、高等学校をはじめ盲・ろう・養護学校を対象に補助制度を設けております。

当協会と致しましては、これら事業に期待をし、県ご当局、教育委員会等さらには民間施設に対しても対象を拡げ、積極的な営業活動を展開していく所存であります。

本年も会員皆様方のご支援、ご協力をお願い致しますとともに、皆様方のご健勝を祈念しごあいさつと致します。



役 員								
会 長	齊藤隆夫	副 会 長	辻 宏三	専務理事	国久武夫			
理 事	飯島慶一	小野訓孝	帯金岩夫	小林稔蔵	清水文一	河野富重	埴原喜久男	
監 事	荻野あさ子	野中昭夫						平成15年7月現在

山梨県造園建設業協同組合

理事長 辻 宏三

新年あけましておめでとうございます。

平成16年の新春を迎えられ、組合員の皆様方には、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

旧年中は、組合員はもとより、県をはじめとする関係機関、諸団体の皆様方には多大なご支援を賜り、心より厚く御礼申しあげます。

さて、私は昨年6月、当組合の理事長を仰せ付けられました。改めて責任の重大さに身の引き締まる思いでございますが、年頭に当り明るい希望のもてる年とするべく所信の一端を申し述べ、組合員の皆様にご理解ご協力をお願い申し上げる次第でございます。

近年、工事量の減少に伴い、共同受注事業の先行きにも陰りが拡がっていく中、前任者のご尽力により昨年3月、官公需適格組合の証明取得をして頂いたことは御同慶の至りでございます。今後は国等の機関をも視野に公共事業の拡大を目指し、新たなマーケットを開拓し、満足いただける組合となるよう努力してまいっている所存でございます。

このところ、行政におきましてはプロジェクトに際し、民間の意見を聞く機会を設けることが多くなっております。昨年10月、県土木部が主体となって、アルプス通り（甲府市—開国橋—南アルプス市）の景観コリドー研究会が発足し、そのワーキンググループに当組合員も参画し、官学民一体となって新しい感覚での景観づくりを目指すことにしておりますが、ランドスケープのプロとして、施工実績を踏まえた提言が景観形成の実現に反映されますことを期待しております。

時代が変わります。価値観は変わります。そして当組合も変わって21世紀を切り開いていく礎を築くべく、お互いに頑張りましょう。

終わりにになりましたが、組合員の皆様方のさらなるご発展、ご健勝を祈念し、年頭のご挨拶といたします。



平成15年6月6日就任

役 員								
理 事 長	辻 宏三	副理事長	河野富重	専務理事	三井兵部			
理 事	今村三紀男	小林 洋	齊藤隆夫	佐藤芳男	堤 吉朗			
監 事	石原政人	内田正文						平成15年6月現在

協会の動き

平成15年度 予算総会

平成15年 3 月25日午後 4 時から出席会員30名、委任状による代理 7 名の出席を得て、河野富重理事の司会により、予算総会が開催された。

辻宏三理事が議長に選出され審議に入った。

第 1 号議案 平成15年度事業計画（案）及び、第 2 号議案 平成15年度収入・支出予算書（案）について事務局より説明を行い可決承認された。

第 3 号議案 役員改選の件

議長は、定款第13条による役員の選任について諮ったところ、事務局案の提示を求められ、これを議場に諮り承認された。被選任者は就任を承諾した。

一時休憩に入り、午後 4 時40分再開。理事会にて互選された次の者を選任した旨議長より報告された。

会 長 齊藤隆夫 副会長 依田経雄 専務理事 国久武夫

以上をもって、本日の予算総会の全議案の審議が午後 4 時50分をもって終了した。

平成15年度 第27回通常総会

5 月30日午後 4 時から、当造園建設業会館において会員33名の出席を得て、飯島理事の司会により、第27回通常総会が開催された。

齊藤会長のあいさつに続き、当協会表彰規定に基づく造園功労者 3 名（9 ページに掲載）に会長から表彰状が贈呈された。

引き続き、来賓の山梨県議会 深沢登志夫議員・臼井成夫議員及び山梨県農政部 代永博幸部長からそれぞれ祝辞をいただいた後、社団法人 日本造園建設業協会専務理事 高平三朗氏からも祝辞をいただいた。

議事に先立ち、埴原喜久男理事が議長に選出され議案の審議に入った。

第 1 号議案「平成14年度会務報告」第 2 号議案「平成14年度収入・支出決算承認の件」が一括提案され事務局より説明のあと、荻野監事より監査報告がありいずれも可決承認された。第 3 号議案「総会議決事項の理事会への委任」についても承認され議長は閉会を宣し、午後 5 時総会は終了した。

なお総会に先立ち、午後 3 時から、山梨県議会議員 山下実講師より「我が人生とみどりについて」と題して講演をいただいた。

平成15年度 第 1 回臨時総会

平成15年 7 月 8 日午前11時から書面表決者を含め出席会員28名を得て会議は成立し、埴原喜久男理事の司会により、第 1 回臨時総会が開催された。

辻宏三理事が議長に選出され審議に入った。

第 1 号議案 役員（理事）選任の件

議長は、平成15年 5 月15日依田経雄理事の辞任に伴い、河野富重を理事に選任する旨議場に諮り異義無く承認され、本人はその就任を承諾した。（2 ページの役員参照）

以上をもって、議長は閉会を宣し、午前11時40分散会した。

第24回「花と緑の植木まつり」と第14回「花と緑のフェスティバル」

平成15年度「花と緑の植木まつり」が平成15年 4 月19・20日の 2 日間、南アルプス市上今諏訪の「木の国サイト」を会場に、花と緑の植木まつり実行委員会が主催し、協賛を木の国サイト、後援を山梨県緑化推進機構にお願いし、六郷町特産品加工組合他 3 組合も出展し盛大に開催された。緑化思想の高揚を図ることを目的として緑化樹木の展示即売を行う行事であり、ほかに草花、野菜苗の即売、身延町特産品加工及び竹炭組合では山野草や竹炭・木酢液の展示即売を行った。この行事も24回を数えすっかり定着したものとなっている。先着200名の方には記念品のミニバラの配布もあって開門と同時に行列が出来る大勢の人で賑わった。また緑化に関する病虫害防除に対する相談コーナーも設けられ 2 日間の「まつり」は好評をいただいて終了した。

一方、「花と緑のフェスティバル」は 5 月 3 ・ 4 日の 2 日間、例年通り高根町清里の森管理センター芝生広場で開催され、同実行委員会が協賛した。会場も樹木や草花などの展示即売を行ったが、ゴールデンウィークの行楽客で大賑わい。近くの別荘からは植え付けの依頼があるなど好天にも恵まれ盛況であった。



労働安全衛生講習会開催

造園工事の小規模な現場では、そのほとんどが労務安全に対して専従者を置いていないのが実情である。したがって、現場の安全管理は、会社をあげての支援体制が重要であり、具体的には、現場責任者は、会社の方針、工事の諸条件などを踏まえ、工事施工計画にあわせて安全施工のための安全管理計画を作成し、関係者への周知徹底が必要である。

このような観点から、当協会としても会員に周知徹底を図るため、昨年1月28日午後1時30分より山梨労働局 労働基準部安全衛生課 地方産業安全専門官 星野護先生を講師に、「労働災害の発生状況と労働災害防止について」と題して、また、9月11日午後1時30分より甲府労働基準監督署 安全衛生課長 橘田一也先生を講師に、「造園工事における労働安全衛生について」と題してそれぞれ講習会を開催し、会員多数参加のもと熱心に講義を受けた。

第20回「全国都市緑化おおいたフェア」視察研修

『おおいた 緑・香り・夢フェスタ'03』が、平成15年4月28日～6月29日まで開催され、当協会会員も視察研修を行った。

今回は、スポーツ公園と植物公園の2会場で開催された。メイン会場は昨年のワールドカップサッカー会場にもなった大分市スポーツ公園のビッグアイ競技場を中心に行われ、第20回の記念開催とも重なり出品状況も例年に比べ多いように感じられた。会場内は、地元住民ボランティア制作による、色鮮やかな花壇の歓迎から始まり、花と香りのエリア・交流エリア・ホワイエエリアほか4エリア等からの構成となり、各エリアが特徴を出し切ったすばらしい完成度を示し、来場客に満足感を与えたようである。

特に気になったのは暮らしのエリアで、これは、大分県内の造園業者が出展しており、この地方の造園技術を集結して作られたもので「豊の大庭園」と名づけられ、この地方の特色を生かした露天風呂がある庭等すばらしい仕上がりを見せており、我々も今後の造園技術に関し大変参考となった。本県においては、このフェアはまだ先の開催となるようであるが、日本が持つこのすばらしい造園技術をより多くの世界の人々にも見てもらい、後世に残せるよう日々努力していきたいと改めて感じた。

「河川清掃作業」に参加

県土木部では毎年7月を「川に親しみ、水辺にふれあう運動」強調月間とし、河川環境の整備充実及び河川美化意識の高揚・啓発を図っており、本年も塩山建設部管内、峡中建設部管内、富士北麓・東部建設部管内の各関係機関・団体の協力により、河川の除草、清掃作業を行った。実施機関、実施日及び当会員の参加人員は次のとおりである。

塩山建設部 平成15年7月9日 熊野川河川公園付近 12名参加

峡中建設部 平成15年7月17日 荒川 22名参加

富士北麓・東部都留建設部 平成15年7月17日 富士吉田会場 10名参加

総支部モデル事業「校庭芝生化事業」現地視察

豊かな自然環境に恵まれた長野県南安曇郡三郷小学校は、果樹・水田を中心とした農村地帯であったが学校周辺の宅地化が進み、校庭からの砂ほこりの苦情が相次いだ。このため、公害防止、教育的効果の両面から校庭のトラック外周芝生化が実現し、平成15年6月に完成した。この事業は、中央教育審議会が校庭芝生化の推進を提言し、日韓ワールドカップ開催を通して芝生に対する注目が高まっている中、松本市総合球技場を始め幾つもの球技場や野球場のスポーツターフを建設・維持管理しているノウハウを、校庭緑化に活かしたいとの願いから村の関係者、小学校の職員会議で説明し、PTAの賛同を得、(社)日本造園建設業協会の補助と村の予算により建設が実現したとのことである。

昨年8月22日、関東甲信総支部の主催による視察会が実施され、当協会会員15名の参加があり関心が高まった。

これと同時に県営サッカー場、松本市立芝沢小学校グラウンド、私立松本大学運動練習場も視察した。



平成15年度 関東甲信造園建設業協会協議会 栃木県で開催

本協議会は関東甲信地区の1都8県の造園建設業協会で構成し毎年開催されている。昨年は(社)栃木県造園建設業協会が幹事となり、10月23・24日の両日栃木県宇都宮市上大曾町において開催された。当県からは、齊藤会長、辻副会長、国久専務理事が出席した。

主な議題は次のとおりであり、活発な意見交換が行われ他県との意志疎通が図られた。

①ISO19001・14000認証取得状況について

②造園の専門的技術・技能の資格の評価及び適正価格での事業実施の現状とそれらへの取り組みについて

③地球温暖化防止対策事業と造園業について。

④中間法人に対する取り組み状況について。

⑤入札参加資格者の格付審査項目について。

⑥会員の技能・技術向上のための研修体制についてどのような取り組みをされているか都県の状況について。

⑦NPOと造園業との関わりについて。

「03やまなし住宅フェア」に出展

「住みたいね！家族の絆育む住まい“03住宅フェア”」をテーマに、第14回目を迎えた「やまなし2003住宅フェア」は11月15・16日の二日間、小瀬スポーツ公園体育館とその周辺で盛大に開催された。

「県民の日」の記念行事の一環として、山梨ゆとりある住生活推進協議会が主催し、県内外から住宅建設に関係する住宅メーカーなど56の企業や団体が情報提供を目的に出展した。

当協会では、渉外委員（埴原喜久男委員長）を中心に企画運営に当たり、校庭・公園・家庭等芝生化に関するモデル写真の展示や芝生のサンプルを展示した。また芝生に関するアンケートを実施し協力いただいた方々にはパンジーを配布して好評をいただき、二日間で592名の応募があった。



「花いっぱい運動」に参加

「道路をまもる月間」の行事として、かいじ国体からはじまった「花いっぱい運動」が平成15年11月19日、県峡中地域振興局建設部主催により昨年同様南アルプス市上今諏訪地内、県道今諏訪北村線及び関連路線において実施された。当協会員も県出先機関・南アルプス市・建設業協会甲府支部会員等と共に参加した。総勢260名の参加のもと12,000苗のパンジーを植付け、同時に「道路美化運動」として路面清掃を行い沿道は華やいだ環境に衣更えした。



「ISO認証取得講習会」の開催

先般、山梨県においては建設工事にたいして、ISO9000S認証取得を資格要件に盛り込み、一定の基準に沿って、一般競争入札・公募型指名入札で品質ISO適用工事を実施する旨打ち出した。また通常の指名競争入札についても工事業務の内容等踏まえながら、適用工事を選び指名業者を選定する段階でISO認証取得を要件とする業者選定を行うとの方針を打ち出したところである。

ISOの認証は取得そのものが目的でなく、会社経営の改革につなげるのが目的であって、経営全般のレベルアップといえる。

このため当協会としては、会員が共同で取得出来れば取得費用の削減につながるとの思いで平成15年11月27日、ISO資格取得講習会を開催し、協会員16名が出席し真剣に講習を受けた。

組合の動き

平成14年度 第3回臨時総会

平成15年3月25日午後5時より当造園建設業会館において開催された。齊藤隆夫理事長の挨拶に続き、議長に依田経雄理事が選任され、議案の審議に入った。

第1号議案 役員改選の件

議長は理事、監事の全員から辞任届が提出されているため改選の必要を述べ、その方法について議場に諮ったところ指名推薦の同意を得、選考委員についても諮り5名が選任された。

一旦休憩し、選考委員により被指名人が選定され、会議再開。議長は被指名人を当選人とするか諮ったところ全員の同意を得、当選人は役員の就任を承諾した。

引き続き、新理事による理事会開催のため再度休憩。会議再開し、議長より理事会にて次の者が選任されたことが報告され、午後6時閉会した。（2ページの役員参照）

理事長 依田 経雄 副理事長 河野 富重 専務理事 三井 兵部

平成15年度 第17回通常総会

平成15年度第17回通常総会が平成15年5月30日午後4時30分より当造園建設業会館で開催された。依田経雄理事長の挨拶、来賓代表の山梨県中小企業団体中央会 会長代理 知見寺労働課長からご祝辞をいただいた後、河野富重理事長が議長に選任され、議案の審議に入った。

第1号議案 平成14年度決算関係書類（事業報告書・貸借対照表・損益計算書及剰余金処分案）承認の件について事務局より説明のあと内田監事の監査報告があり可決承認された。

第2号議案 定款変更の件……可決承認

第3号議案 平成15年度事業計画及び収支予算（案）決定の件……可決承認

第4号議案 総会議決事項委任の件……可決承認

第5号議案 補欠選出の件……依田経雄理事の辞任に伴い、辻宏三氏が理事に選出された。

議審はすべて終了し、午後6時閉会した。

「官公需適格組合」の証明取得

官公需適格組合制度は、官公需の受注に際して中小企業者の自主的努力を支えるため、国等が発注に際して中小企業者の組合等の活用を積極的に行えるよう、便宜を図るために制度化されたものである。

この制度の対象となる「官公需適格組合」は、共同受注した契約は、完全に履行できる十分な体制・経営基盤が整備されている組合である要件として、中小企業庁（本県の場合は関東経済産業局）の証明が必要となる。

当組合では、官公需の共同受注を目指し、人材・財政的整備を行い、実施体制や資産状況などを検討し、昨年2月、山梨県中小企業団体中央会の「内容事実確認」を受け、官公需適格組合証明申請書を提出、平成15年3月26日付の証明書が交付された。

「木材チップパー」の共同購入

地域環境の保護・保全を目指す当組合は、その実現の一環として機動性のある「木材チップパー」を共同購入し、廃棄物として焼却処分されていた剪定枝葉等を自らの手でチップ化する事業を立ち上げた。

現在、エコ・グリーン産業の担い手として先導的立場にある組合員の、チップパー使用とチップのリサイクルについて、より一層効果的な活用を目指しているところである。



＜協会委員会の開催＞

会 議	開 催 日	議 題 ・ 協 議 内 容 等
総務委員会	平成15年6月20日	第1回各委員会正副委員長会議 1. 県関係機関に対する要望
	平成15年7月1日	第2回各委員会正副委員長会議 1. 県関係機関に対する要望
	平成15年7月11日	第1回総務委員会開催 1. 備品購入について 2. 慶弔規定の改定について
	平成15年7月31日	第2回総務委員会開催 1. 備品購入について
	平成15年9月2日	第3回総務委員会 1. 平成15年度事業割会費について
広報委員会	平成15年9月5日	第1回広報委員会（「ぞうえん山梨」発刊準備）
	平成15年9月25日	第2回広報委員会（「ぞうえん山梨」の原稿とりまとめ）
	平成15年10月10日	第3回広報委員会（「ぞうえん山梨」の原稿とりまとめ）
	平成15年10月23日	ホームページ開設講習会
	平成15年10月28日	第4回広報委員会（「ぞうえん山梨」の原稿とりまとめ）
	平成15年11月18日	第5回広報委員会（「ぞうえん山梨」の原稿とりまとめ）
	平成15年11月27日	ISO認証取得講習会
	平成15年11月28日	第6回広報委員会（「ぞうえん山梨」編集会議）
	平成15年12月8日	第7回広報委員会（「ぞうえん山梨」編集会議）
	平成15年12月16日	第8回広報委員会（「ぞうえん山梨」最終編集会議）
事業委員会	平成15年6月23日	日造協・関東甲信総支部 事業拡大委員会に参加 平成15年度植栽基盤診断士研修会及び認定試験の説明会に参加
	平成15年8月22日	日造協 長野支部「芝生の校庭」見学参加者15名
	平成15年9月9日	平成15年度事業・技術委員会活動方針 植栽基盤診断士研修会経過説明会に参加 校庭芝生化事業現地見学会経過説明会に参加
	平成15年11月18日	平成16年度「花と緑の植木まつり」検討会
技術委員会	平成15年9月9日	平成15年度事業・技術委員会活動方針 植栽基盤診断士研修会経過説明会に参加 校庭芝生化事業現地見学会経過説明会に参加
渉外委員会	平成15年8月1日	県関係機関に対する要望について
	平成15年8月11日	県土木部あて要望書提出
	平成15年9月5日	第1回'03山梨住宅フェア出展について
	平成15年10月1日	第2回'03山梨住宅フェア出展について

表 彰 等

協 会

(社)日本公園緑地協会・公園緑地功労者表彰

佐 藤 芳 男

(社)山梨県造園建設業協会 常任参与

公園緑地事業及び都市緑化事業等の実務に携わった功労者として、平成15年5月15日、栃木県総合文化センターにおいて開催された「日本公園緑地全国大会」において関係者多数出席する中、(社)日本公園緑地協会会長より栄えある表彰を受けられた。



氏は昭和23年4月山梨県土木部都市計画課に奉職、主に都市計画事業に携わり特に第41回国民体育大会の主会場等の建設を担当、所員と共に大会の成功に寄与した。昭和61年10月、造園会社を設立、経験を積み、平成9年5月当協会に就職、官民の経験を活かし、協会の技術の向上に努められている。

山梨県環境緑化功労者表彰

野 尻 積 道

野尻造園建設(有) 代表取締役

環境緑化整備や地域の緑化推進に功績のあった環境緑化功労者として平成15年10月8日、恩賜林記念館において開催された「山梨県林業まつり」式典において関係者出席の中、知事より表彰された。



氏は昭和37年4月から造園業に携わって以来、その優秀な技術と手腕をもって若手従業員の指導育成に尽力された。

また、全国植樹祭会場跡地芝生広場の植栽工事や公共施設の緑化工事を数多く手掛けているが、施工の出来映えは高い評価を受けている。

ミニガーデンコンテスト山梨県知事賞受賞

名 取 正 人

(株)雲松園 工事主任

昨年10月13日、山梨県フラワーセンターにおいて開催された平成15年度 ミニガーデンコンテストにおいて栄えある知事賞を受賞された。



このコンテストは、「一般家庭に提案したい庭」というテーマにより、デザイン画による一次審査をパスした10点が展示された。狭いスペースの中で、如何にニーズに応えられる庭づくりをアピールする提案が出来るかについての課題に対し、高い評価を受けて多くの来園者にガーデニングの参考になった筈である。

組 合

山梨県中小企業団体中央会・感謝状

齊 藤 隆 夫

山梨県造園建設業協同組合 理事長

平成15年5月29日、「アピオ甲府」において開催された山梨県中小企業団体中央会通常総会の席上、関係者多数出席する中、中央会会長より、組合理事長として永年にわたる組合振興の功績に対し、感謝状が贈られた。



氏は、平成3年3月から平成15年3月まで、当組合の理事長として組合員の相互扶助と経済的地位向上に積極的に指導力を発揮され、昨年3月には官公需適格組合の証明取得など、組織強化と組合の発展に尽力された功績が評価された。

山梨県中小企業団体中央会・組合功労者表彰

辻 宏 三

辻緑化土木(株) 代表取締役

昨年5月29日に開催された山梨県中小企業団体中央会通常総会の席上、中央会会長より組合功労者として表彰を受けられた。



氏は、昭和61年5月の当組合設立総会において監事に就任、平成3年6月から昨年3月まで理事として当組合の運営に重要な役割を果たしてこられた。

一方、職業訓練指導員や1級造園技能士としての立場から後進の指導にも意を注いでいる。

山梨県中小企業団体中央会・優良専従職員表彰

久保田 茂 樹

(株)アセラグリーン 次長代理

昨年5月29日、山梨県中小企業団体中央会の通常総会において、優良専従職員として中央会会長より表彰を受けられた。



氏は、長い間環境整備工事を担当し、施工管理の取り組みは適格であり、優良工事の受賞実績もある。特に工事部門の責任者として後輩の指導に当たり、当協会の造園事業功労者を続けて輩出させており、社員の模範となっている。

ほたるみ橋公園

山梨県峡中地域振興局 農務部計画課

事業名：農村景観形成事業

実施年度：平成11年度

所在地：中巨摩郡檜形町平岡（現在の南アルプス市）

事業目的：檜形町西部に位置する平岡・市之瀬台地については、自然環境や地域資源を活かしつつ、農業の振興をはかるため、広域農道やポケットパークのほたるみ橋公園などの整備を行ってきている。これらの施設と有機的に連携し、地域の活性化と地域農村景観の保全、育成をはかる。

工事概要：用地整備（駐車場、フェンス工）

修景施設整備（石積み、植栽、張芝）

休憩施設（四阿、ベンチ、水飲み）

（表紙参照）

平成15年度ミニガーデンコンテスト

山梨県フラワーセンター管理事務所

フラワーセンターでは、県民に花や緑に親しんでいただくとともに、さまざまな花の楽しみ方を提案しています。各家庭、地域で“ガーデニング”が定着しつつある中、より一層の振興と花の消費拡大を目的として「平成15年度ミニガーデンコンテスト」を10月に開催しました。

このコンテストは昨年 来園者に好評を博したこと、また、一つの植物やプランターや花壇等の一部を飾花するのではなく、トータルな空間デザインで植物を楽しみたいというニーズが多いことなどから、「一般家庭に提案したい庭」というテーマを設定し、それに基づいたデザイン画による一次審査を通過した作品10点が、園内芝生広場に作成されました。

どの作品も、「こんな庭を作りたい」と思わせ、多数の来園者が観賞し、庭づくりの参考となったことと思います。

特に今年の作品は、人が集えるようなエリアの設置、水と植物の配置による癒し、植物を季節に合わせ植ええられる・育てるスペースの設定などの提案が多数見られました。庭を一步離れた所から観賞するのではなく、生活の一部として人と植物が積極的に関わりを持つ場としての「庭」が特色となっていました。

展示期間中は「やまなし花フェスタ2003」も開かれ約2万人以上の方が作品を観賞しました。(社)山梨県造園建設業協会の後援・ご協力により、「お庭の相談コーナー」も開催され、コンテストだけにとどまらず、庭作りに対する広がりができたことと思います。

フラワーセンターでは今後もこのような提案型のコンテストやモデル庭園の設置等を実施し、県民の皆様に花と緑に親しんで頂けるよう計画しております。

厳正なる審査の結果 次の方達が受賞されました。

おめでとうございます。

山梨県知事賞 (株)雲松園 名取正人

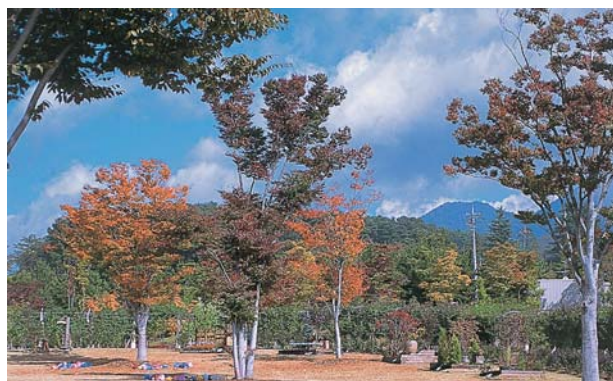
金 賞 山梨ガーデン(株) 依田茂巳

銀 賞 (株)石和植木 管理部

銅 賞 中央造園土木(株) 今村尚人

(株)富士グリーンテック

(株)富士植木 山梨支店



当協会造園事業功労賞 受賞者のことば

平成15年5月30日、当造園建設業会館において開催された平成15年度通常総会の席上、次の三氏が齊藤会長から表彰を受けられた。各氏とも、それぞれの職場において永年造園事業に携わり、施工管理が優秀で、その真摯な取り組みが他の模範となっている功績が認められた。

(株)石和植木 工事部主任 平山 光彦

平成15年5月30日、(社)山梨県造園建設業協会の総会に於いて開催されました通常総会の席上、造園事業功労者表彰を得ましたことを大変光栄と存じております。

私は株式会社石和植木に勤務して19年間、県関係の公園事業、街路植栽工事等数多くの造園工事に携わり、現場主任として仕事をしてきました。最近では植栽工事の他、外構工事がミックスされた工事が多くなり、土木工事の知識が重要視されております。植栽工事の美的感覚に併せて外構工事のバランス等に配慮が必要となってきております。新しい工種の取り組みもあります。造園施工管理技士に併せて土木施工管理技士の資格が必要です。これからは造園土木工事として対応ができるよう無事故を目標に完璧な工事を完成させるべく努力し、造園建設業の発展に微力ながらも貢献できるよう、幅広い知識を身につけ頑張っていきたいと思っておりますので関係諸先輩の暖かいご指導をお願い申し上げます。

富士急建設(株) 造園部次長 萱沼 昭一

昨年5月30日、(社)山梨県造園建設業協会総会の場で、造園事業功労者として表彰されました事は身にあまる光栄でございました。

また、会長をはじめ来賓の方々から、まことにご丁寧なお言葉を頂戴いたしまして、まったく身のおきどころもない思いでございました。皆様方の有難いお言葉に、わたくしの過去をふりかえってみますと、なにひとつ、これという功績など見いだせないことを恥じるばかりでございます。

かえりみますと、山梨県の土木部・林務部・土地改良・営繕の仕事、日本道路公団の仕事をはじめ、民間の庭園造りを手がけてきたなかで、さしたる過ちもなく、今日を迎えられ、今回の栄えある表彰をうけましたことは、これひとえにいくた先輩のご努力の恩恵によくしておることを、ふかく感謝申しあげなければならぬと存じます。

このうへは、さらに決意をあらたにし、微力非才ながら、身につけた体験を生かし、(社)山梨県造園建設業協会の発展・緑化事業の推進に力をそそぎ、この栄誉にむくいる覚悟であります。今後とも、なにとぞよろしくご指導、ご支援くださいますようお願い申しあげ、感謝のことばといたします。

(株)富士グリーンテック 工事部係長 樋口 創一郎

私は(株)富士グリーンテックの工事部に勤務して今年で12年になります。私が入社した年はまさにバブルの絶頂期であり、当社は公園工事はもちろんですがゴルフ場工事も多く手掛けていました。当然のように私も入社してすぐにゴルフ場勤務に配属され、主に築造を7～8年担当しました。以後は公園工事等の公共工事にも携わり、ここ2年程は住宅の外構工事を数多く手掛けるようになりました。

外構工事で一番大切な事は、お客様のイメージを自分がどれだけ速く把握できるかという事です。ところがこれがなかなか難しいもののようです。やはり微妙なずれがどうしても生じてしまうものです。材料のちょっとした色合いの違い、植木の位置関係等さまざまです。最近では必要にせまられ、CADで図面を描くようになりました。上手に描けず仲間に教えてもらいながら毎日頑張っています。

まだまだ知識も少なく習得しなければならない事がたくさんあります。今後は造園工事に限らず、幅広い分野の知識を身につけたいと思っています。

当協会員の造園関係資格取得状況

平成15年11月1日現在

1 級造園施工管理技士	108	1 級建築士	8
2 級造園施工管理技士	82	2 級建築士	5
樹 木 医	2	1 級建築施工管理技士	1
街路樹剪定士	105	2 級建築施工管理技士	1
農業管理指導士	33	1 級造園技能士	27
監理技術者	92	2 級造園技能士	17
1 級土木施工管理技士	45	測 量 士	2
2 級土木施工管理技士	72	測量士補	4
1 級機械施工管理技士	11	2 級建設業経理事務士	12
2 級機械施工管理技士	10	3 級建設業経理事務士	5

青年部の活動

浜名湖花博建設会場研修報告

平成15年 8月22・23日の二日間、造園建設業協同組合青年部の研修旅行が行われました。

今年の研修は来年4月8日から10月11日までの187日間、開催される浜名湖花博の建設会場でした。

浜名湖花博は、国際園芸博覧会と全国都市緑化フェアを同一会場で開催するという、大規模なイベントです。会場は静岡県浜松市の浜名湖ガーデンパークで、浜名湖に面した庄内半島の南端にあり、56haの広大な敷地に数千品種、数百万株の植物をそろえるという国内はもちろん、世界でも最大級の国際花博とのことでした。

会場内は「花・緑・水～新たな暮らしの創造～」というテーマにそい、花の街、花いっぱいのコミュニケーションエリア。水の園、うるおいに満ちたエンターテインメントエリア。緑の里、歴史と自然と文化のヒーリングエリア。と3つのエリアに分かれており、それぞれ違った展示やイベントを行うそうです。

また会場内のエリアを結ぶ園路は、ユニバーサルデザインを採用し、勾配は4%以下と高齢者や子供に配慮したつくりになっていました。

まだ会場は、一部の施設や建築物しか出来上がっていませんでしたが、会場ほぼ中央にある高さ50mの展望塔は完成しており、会場及び浜名湖を見渡せる壮大な眺望は素晴らしく、ぜひ開催期間中にもう一度見てみたいと思いましたが、今後の維持管理の都合上、エレベーターが一台しか設置できないそうで、開催中は入場予定者の一割ほどしか利用できないとのことでした。

植栽も一部だけでしたが、植栽したものには、風害や塩害等の障害があり、その対応策は今後の仕事において大変参考になるものでした。

(株)雲松園 名取正人



8/22・23に、「全国都市緑化しずおかフェア」と「しずおか園芸博覧会」の同時開催である浜名湖花博の施工現場の研修が行われました。

56haの会場を、花の街・水の街・緑の里の3つのエリアに分け6000品種・500万株の草花によって構成するそうです。会場が浜名湖に囲まれているということもあり、メインの園路からは常に水辺が望めるような造りになっており、全体の風景としてもバランスのとれたものになると想像できました。

また、今回は施工現場の視察ということで、開催中の来場者というよりは、「花博開催にあたって」という立場での着眼点のもてた研修となりました。現場でお話を伺う中で、開催するために問題となってくるのは予算をどうやって集めるのかということと、会場となる敷地をどうやって確保していくかが大きな柱であると感じられました。浜名湖花博では、入場料などの利益収入、静岡県や浜松市の協賛金などで賄い、敷地は浜名湖を有するすばらしい敷地を確保することが出来、水の街と緑の里のあるエリアは花博終了後も公園として維持していくことが予定されているそうです。そこで利益収入が伸び悩み赤字となってしまった場合や、オリンピックやワールドカップにみられるように開催後の会場跡地の有効利用など気掛りな点が挙げられますが、どの開催地でも同様に抱えることとなる課題ではないでしょうか。

今回の研修を通して浜名湖花博がどういう結果を出すのか、とても興味深いものとなりました。

(有)窪田造園 窪田 司



「環境首都・山梨」 クリーンキャンペーンへの参加

当組合青年部では、県内の身近な環境美化運動および緑化啓蒙活動の一環として、山梨県が主催する『環境首都・山梨』クリーンキャンペーンに参加しております。青年部員の30名余りが年間2回の参加をし、本年度で2年目になります。

活動内容については、昨年度、甲府市中心部の公園内に草花の植付けを行い、公園利用者や歩行者に対し、安らぎの空間を提供しています。本年度は、山梨県の玄関口でもあるJR甲府駅南北昇降口附近に草花を植え付けたプランターを設置するとともに、周辺の清掃作業を実施し県内外の駅利用者に親しまれています。また、身近なところから花を育ててもらい周辺環境をみどりで埋め尽くせるようお願いをこめて、草花の種を通行者に無料配布しとても好評でした。

このようなボランティア活動を通じて、一人でも多くの県民が、自分の住む山梨の環境緑化・美化活動に対して自主的に活動し、さらに素晴らしい環境創りに邁進できるよう、今後もお手伝いできるような活動していきたいと思っています。



親睦ソフトボール大会

平成14年度より開催されている青年部親睦ソフトボール大会を昨年も10月11日に甲府市水道局昭和浄水場にて開催しました。多忙の中、富士吉田、北巨摩等遠方からの参加を頂き、青年部員20名にて親睦を深めながら楽しいスポーツで秋のひとときを過ごすことができました。終了後は昼食を出席者全員で頂き、珍プレー、好プレーを語り合いながら次回を楽しみに散会しました。結果は緑チーム、黄色チーム、の攻防激しく32対31の僅差にて黄色チームの勝利でした。青年部員の親睦が深まり有意義な一日でした。



平成15年度 青年部事業

実施（予定）年月日	事業内容	場所	参加対象者
平成15年4月19日	第24回花と緑の植木まつりに協力	木の国サイト情報館	青年部
平成15年4月20日		(南アルプス市上諏訪1864番地)	
平成15年4月21日	青年部総会	山梨県造園建設業会館	青年部全員
平成15年5月13日	青年部役員会	山梨県造園建設業会館	役員
平成15年5月16日	青年中央会総会	アビオ甲府	役員
平成15年6月17日	青年部役員会	山梨県造園建設業会館	役員
平成15年7月30日	山梨県クリーンキャンペーン参加	J R 甲府駅前	青年部全員
平成15年8月22日	研修旅行（浜名湖花博）	静岡県浜名湖花博建設会場	青年部全員
平成15年8月23日			
平成15年10月11日	親睦会（ソフトボール大会）	甲府市水道局昭和浄水場	青年部全員
平成15年12月3日	研修会	山梨県造園建設業会館	青年部全員
平成16年2月	定例会（来年度事業計画等） リーダーシップ研修会	山梨県造園建設業会館	青年部全員
平成16年3月30日	山梨県クリーンキャンペーン参加	県立中央公園	青年部全員
毎月 本会（協会・組合）の理事会開催日	青年部役員会	山梨県造園建設業会館	役員
不定期	青年中央会役員会	山梨県中小企業団体 (中央会会館内)	部長

工事実績紹介

発注者 日本道路公団東京建設局 上野原工事事務所
工事名 中部横断自動車道 南アルプス地区造園工事

中部横断自動車道の南アルプス市 沢登より野牛島までの造園工事で、周辺地域の景観形成と環境との調和を図るための植栽工事である。

工期は平成15年6月28日より平成16年4月22日まで。植樹工については昨年11月より着手している。

なお、本工事は「官公需適格組合」の証明取得後、初めての受注工事であるため、今後の組合運営のテストケースとして対応している。

工事内容

植栽基盤整備工	2,909m ²	基盤改良工
植樹工	8,831本・株	高・中・低木・地被類
支柱工	629組	富士型・竹三本支柱
マルチング工	2,068m ²	シートマルチング



植樹工着工前

シニアワーク植木管理講習会

(社)山梨県シルバー人材センター連合会の事業に当組合が協賛し、6年目を迎えている。連合会では数多くの技能講習の講座を各地域で開催しているが、植木管理コースは特に受講希望者が多く、昨年までは年4回開いていたが今年度より2年間で9回開催することになり、講師になって頂いている小林豊蔵氏、小林 洋氏、堤 吉朗氏、内藤 明氏には大変なご尽力を頂き、また、仲村清治氏「(株)仲村造園」には突然の講師依頼を引き受けて頂き感謝しているところである。

今年度は東山梨地区広域SC、南アルプス市SC、峡南広域SC、中巨摩東部SC、県東部地方広域SCの5個所で開催し大変なご好評を頂いた。

カリキュラムの内容については当組合と協議し、充実した内容となっている。



講習会日程表

	午 前	午 後
1 日目	造園作業の基礎知識	実 技 (各種道具の使い方、鋏の研ぎ方等)
2 日目	実 技 (三脚、梯子の立て方)	実 技 (剪定、整枝)
3 日目	実 技 (剪定、整枝)	実 技 (剪定、整枝)
4 日目	学 科 (樹木の病虫害防除と安全管理)	
5 日目	実 技 (剪定、整枝)	実 技 (剪定、整枝)

はじめに

峡北7町村が合併し総面積569km²、人口4万2千人の北杜市が誕生する運びとなった。この地は、北に八ヶ岳、西に甲斐駒ヶ岳、東に茅ヶ岳と国立・国定公園の山々に囲まれ、北の杜の名に相応しいところである。そして、大自然の織り成す、四季折々の自然景観の移り変わりの美しさは、言い表すことの出来ない驚嘆と感動を与えてくれる。

この春、初めてこの地への通勤をすることになった。甲府方面からの道すがら、^{こぶし}辛夷や木蓮、桜といった木々が庭先や里山に咲き誇る姿に心を潤わせられる。さらに、木々の芽吹き、夏の新緑のさわやかさ、もみじやドウダ



山梨名木百選のプラタナス
(樹齢88年・幹周3.3m・樹高30m)

ンツツジの紅葉、青田から黄金色の稲穂がなびき、稲架の連なる姿も、この地域の田園風景として失いたくない日本の景観である。

これほどまでに、豊かな自然を満喫できる場所はないのではと喜びを感じながらの毎日である。

環境とみどりの大切さ

21世紀は環境の時代といわれている。地球温暖化から身近なゴミ問題に至るまで数々の問題が発生している。その解決のため森林や都市のみどりの果たす役割は大きなものがあり、人間にとって健康と安らぎを得る上でも欠くことの出来ないものである。これらの中で二酸化炭素を中心とする温室効果ガスの削減のために、みどりに



多行松の太木
(幹周2.2m・樹冠径10m・樹高10m)

よる吸収・固定は最も重要だといえる。また、森林による、国土の保全、水資源の涵養、大気の浄化、保健休養、防災などの多面的な機能と都市

のみどりの景観形成、ヒートアイランド現象の緩和などに大きな期待が寄せられており、その重要性が再認識されている。その一例として、上流域と下流域の住民の交流が水を通してなされていることがある。水源域の森林の保全のため、下流域住民が下草刈り、枝打ち、間伐などを森林ボランティアでサポートする活動など、環境づ

くりにおけるみどりの大切さを国民全体が考える時代が到来しつつあるのかと喜ぶ一人である。

緑化教育について

学校におけるみどりに関する教育の重要性は、環境教育の視点からも再認識されつつある。

校内緑化活動、学校林の活用などの取組が行われている。こうした取組は、国際植林ボランティアやみどりの少年隊などの学校教育にとどまらない活動となってきた。このことは、今以上に全ての小・中・高校において緑化に関する教育を指導プログラムに組み入れるように図ることが求められている。環境を守り育てる意識を育て、行動できる人づくりを学校教育にしっかり位置づけ、実践して行く必要があると考える。

北杜高等学校のみどり

学校のみどりについて北杜高等学校を紹介する。大正5年峡北農学校として創設され、時代の変遷の中で峡北高校・峡北農業高校・須玉商業高校の三校が統合されるに至った。現在、理数科、普通科、総合学科を持つ総合高校として新設されて三年目を迎えている。巡り巡って創設の地に建てられた新校舎は、創設記念に植えられたプラタナス（山梨名木100選）、ユリノキや多行松などの樹齢90年を迎える大木に見守られている。これらの樹木がこのように育った背景は、教職員、同窓生、生徒の思いが培った賜といえる。まさに、自然やみどりを慈しむ心を育てる教育であり、学校の文化であり、卒業生には心の拠り所となっているといえる。こうした事を踏まえ、本校新設を記念して、本年度、山梨県緑化センターの協力を頂き、ソメイヨシノ100本、富士桜50本を全校生徒で植栽した。みどりの大切さを継承して欲しいと考える。幸いに、本校のシンボルのプラタナスの落ち葉などの清掃を早朝から生徒の有志が行っており、その輪が徐々に広がっている。次代を担う若者に期待したい。



桜の植栽風景



落ち葉清掃風景

セネガルの野菜畑を守る植林～「沿岸地域植林計画」

<Projet de reboisement de la zone du littoral>

広がりつづける砂丘、砂に埋まる農地。アフリカ大陸最西端、セネガル共和国（首都ダカール）には、植林を必要とする砂丘が2,037haあります。日本はまず5年間で765haの植林事業を無償援助で行うことを決め、2001年から北野建設・富士グリーンテック共同企業体によるプロジェクトがスタートしました。私は2003年7月から2ヶ月間、日本人スタッフ3名、現地住民300名とともにこのプロジェクトに参加しました。



セネガル共和国の首都ダカール



苗畑（上）と防風柵が設置された砂丘（下）

現地に到着した私は、感動せずにはいられない風景を目の当たりにします。パリ・ダカール・ラリーのコースのような砂丘には、苗木を守るための黒い防風柵が20m間隔で、見渡す限りの砂丘を覆い尽くすように設置されています。苗畑には4月に播種され40cmに生育したユ

ーカリとモクマオウの苗木75万本が、厳しい自然環境の中で整然と管理されています。こうした膨大で気が遠くなるような作業が、昨年11月から現地住民を雇用して行われ、雨期が始まる7月からの植林作業のために準備を整えてきました。砂丘での植林作業は、まさにこのプロジェクト最大のクライマックスなのです。

今年は、229haの砂丘に50万本の苗木を植林する計画でした。雨期の間の1ヶ月間で1日300人の住民を使って植林します。私たちはその準備に取り掛かりました。苗畑チームは、苗木を丈夫にするために灌水を減らす硬化処理作業、苗木の品質検査と選別、苗木を運搬用ケースに詰める作業を行います。運搬チームは、運搬走路と車輛の整備、砂丘ごとの運搬距離の違いを考慮して運搬車輛の配車計画を立てます。植林チームは240名の作業員で、1日30,000本の植え付けを目標とし、作業員に対する作業手順の教育と、実際に砂丘で植え付け作業のリハーサルを繰り返し行います。こうして住民とともに作業しているうちに、私は参加する住民一人一人が植林の必要性を理解して、自分たちの力で生活環境を守るという意識の高まりこそがこのプロジェクトを進めていくうえで一番大切なことだと感じました。

7月25日朝7時、植林開始。砂丘表面の砂、3～4センチは乾燥しているがその下を掘ると湿っている。雨と地下水位の上昇により適度な水分が保たれていて、植林が可能と判断された。苗木を満載した六輪駆動の大型トラック、カミオンが砂丘へ向かう。砂丘にはこれから植



カミオンとケース詰めされた苗木

林するすべての苗木の位置がわかるように、小さな木の棒が立てられている。植穴の掘削、苗木の小運搬、植え付け、シロアリ防除剤の散布、片付けといった一連の作業が40℃近い猛暑の中、淡々とつづけられる。私は驚きというよりも、感謝の気持ちで胸がいっぱいになった。何十年後には、この小さな苗木がセネガルの砂丘を緑で覆い尽くしているに違いないと思われながら、彼らへの指導にも思わず力が入ってしまった。



急斜面にはネットを張って砂を止める

植林開始から13日目の8月6日、雨が降らず砂丘の乾燥状態が著しいため、やむなく作業を中断することになる。進捗率は60%、実に残念だがいまはただ雨を待つしか方法がない。セネガルの内陸部では豪雨による被害が出ているにもかかわらず、沿岸部だけはなぜか雨が降らない。

8月18日早朝、砂丘に9mmの降雨があり植林作業が再開された。住民とのコミュニケーションがうまくとれ

ないときもあり苦労した。猛暑の砂丘で、わずかな飲み水を分け合い作業した。そして8月27日すべての植林が無事完了した。



一本ずつ丁寧に植付けられる苗木

プロジェクト開始から3年目にして、470haの砂丘に98万本の植林が完了している。植林は今後もつづき砂丘が固定され、安心して野菜の栽培が続けられるようになるはずだ。また住民たちの雇用の増加、森林資源に対する理解を深めるといった成果もある。このように地域と結びついた援助の方法は素晴らしいと思う。

私はこの大規模プロジェクトに関わった一人として、今後の成果に注目していきたい。そしていつの日か、外国からの援助に頼らず自分たちの力で、このような事業を続けていけるような国に発展することを願っています。

(株)富士グリーンテック
工事課長 中川清志



現地スタッフ

テールライト

建設工事において機械施工が行われるようになってから大幅な工程の効率化が図られ、最近は無人工化による施工まで行なわれるようになり、建設業界に大きな変革がもたらされたが、主として人力で作業を行っていた頃はどの様であったろうかと振り返ってみた。

そこで、以前から施工方法について関心があり、この程調べる機会があった記念碑について、その概要を紹介したい。

甲府市の中心に位置する舞鶴城公園に、ひときわ聳えランドマークになっている記念碑がある。明治40年8月、山梨県が未曾有の大水害により人畜、家屋、田畑、河川、道路等に大きな被害を受けたことに対し、明治天皇は県下の御料地を御下賜された。県民はひとしく感激し、この聖恩を永世に伝えるために建設した謝恩碑である。

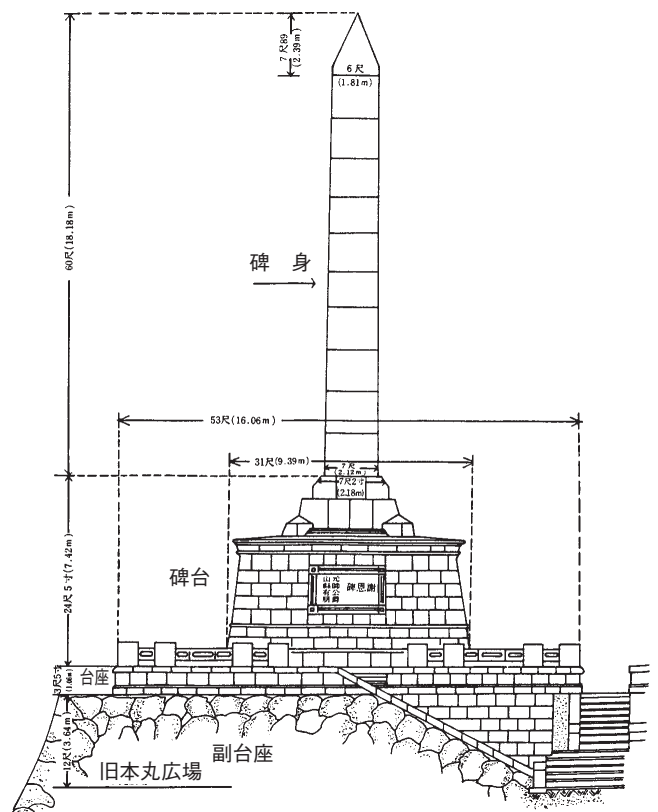
碑身は下部2.12m角、上部1.81m角、高さ18.18mで10個の碑石を積み重ね、頂部に方錐体の碑石を組み合わせたオベリスク型である。基礎工事は岩盤に当たるまで4.6m掘り下げ、35cm厚のコンクリートを打設して基礎地盤とし、この上に長方体（36*30*61cm）の花崗岩とモルタルを使い、48段積み重ねて下部7.5m、上部2.2m、高さ16.4mの方角台形の中心地業石を造り、碑身を据え置きした。中心地業石と碑身には径90cmの穴を穿ち、径25mm鉄筋64本を配し、最上部では4本となるよう逐次減じてコンクリートを充填し締め固めて立ち上げた。なお、台座や碑台は碑身の安定とは関係なく、装飾として中心地業石をつつんでいるものである。

材料の運搬には檣材橈舟、角材、檣丸太、ワイヤーロープ、滑車等を、また碑身の積み重ねには、櫓の建設とワイヤーロープ、滑車、木製ウインチ等が使われていたが、塩山市（旧神金村）からの石材の搬入や碑身の積み重ね作業は、大変な困難があったであろうと、具体的な内容などは分からないまでも当時を偲びながら施工技術を伺い知ることが出来た次第である。

工事は大正6年12月に着手し、同9年12月に完成。（碑身の組立実日数は13日）因みに工事費は99,528円であった。

〈参考文献〉

山梨県：山梨県恩賜県有財産御下賜八十周年記念誌
〈写真提供〉饗場幸義氏（元 饗庭造園(株)代表取締役）



ムギナデシコ〈麦撫子〉 (なでしこ科)

Agrostemma



もとはヨーロッパから西アジアが原産の 1 年草で、麦畑に咲く雑草。初夏に60～90cmの茎に五弁の綺麗な紅紫色の花をつける、少女のような可憐な花である。

日本でも一時、園芸愛好家の間でもてはやされた花で、県内でも盛んに栽培されて、その可憐な花を楽しむ家庭も多かった。

丈夫な花で、種は 9 月～10月に蒔き、日当たりさえ良ければ、土質は選ばない。一度作るとこぼれ種から毎年咲いて、花壇や切花に適している。



(甲府市内にて)

◎お知らせ

〔組織変更〕

富士観造園(株) —→ 富士観光開発(株)建設部

平成15年 9月30日

〔就 任〕

(株)アセラグリーン

代表取締役 埴 原 喜久男

平成14年12月 4日

山梨ガーデン(株)

代表取締役 依 田 忠

平成15年 5月 6日

(株)富士グリーンテック

代表取締役 斉 藤 陽 一

平成15年 8月 1日



(有)須田造園

代表取締役 須 田 良 英

平成15年 9月 1日

(株)雨宮造園

代表取締役 雨 宮 憲 二

平成15年10月10日



〔退会・脱退〕

(有)青晃園

当協会を退会

当組合を脱退

平成15年 8月31日

●●● みどりのさんぽ道 ●●●

過日、NHKのテレビを見ていると、シリーズもので「京都一雅（みやび）―」という番組を放送していた。京都は高校の修学旅行で初めて訪ねて以来、憧れて何回か旅したことがあった。京都のどこに憧れ、どこが良いかと問われると、はっきりと答えることは出来ないが、京都には日本人を惹きつける何かがある。

千年以上の歴史を刻み、その大半を日本の政治、文化の中心として栄えた場所だけに、まさに日本の歴史そのものを映し出している所だ。それだけに、市内、郊外を問わず無数の神社仏閣が残っている。一説には、一箇所の神社仏閣に10円ずつお賽銭をあげていくと、すべての神社仏閣を巡るのに約2万円のお金がかかるという話を聞いたことがある。どのくらいの数の神社仏閣があるのか確認したことはないが、その話を信じれば約2千箇所もの神社仏閣があることになる。

いずれの神社仏閣も立派な建造物を中心に、周囲には多くの樹木や歴史ある庭園がある。建物や庭園を含めて世界文化遺産に登録されている神社仏閣は、十数箇所にもものぼる。石庭で知られる竜安寺や、通称苔寺と言われる西芳寺をはじめ、金閣寺、銀閣寺、平等院など、いずれも日本を代表する歴史遺産のものばかりである。

テレビでは京都の四季を写した映像を流していたが、どの映像にも必ずうっそうとした森や林、きれいに色づいた木々が映し出されていた。やはり日本の風景には、木々の姿、色彩は欠くことの出来ない素材であることを

改めて痛感した。同時に、どんなに日本が近代化して市街地にビルが林立しても、ビルが増えれば増えるほど周囲を緑でカバーしていかなければ、日本の良さは消滅してしまうと思う。

千年以上の歴史を持つ京都には、同じように千年以上の緑の歴史がある。京都の緑は、もちろん一朝一夕に出来たものではない。長い間、その時々々の為政者の努力と保護、住民たちの努力が積み上げられ、今の姿、景色を作り上げてきたものだと思う。しかし、建物を建て庭園を造る時、数百年後、千年後に世界遺産となることを予想して造ったわけではないはずだ。特に庭園は、他の建造物や芸術品と違って、完成したから終わりというものではなく、その後の時間、時代の経過によって少しずつ作り上げられてきたものだ。

県内でも昭和61年の「かいじ国体」以後、街路樹の植栽、公園の整備と、それまで以上に積極的に周囲、環境の緑化に取り組んでいる。甲府盆地は周囲を山々に囲まれ、ましてや郡部では間近に豊富な山々の緑に恵まれている。とはいえ、市街地、住宅地の緑化をおろそかには出来ない。県内の町々、村々が、数百年後、千年後に今の京都のような姿にならずとも、緑にあふれた安らぎのある地域であって欲しいものだ。幸い、造園の仕事に携わっている業界として、数百年後、千年後とは言わないが、少しでも将来を見据えた郷土作りに協力し、手を貸してやらなければならないと思う。

古 木

雲峰寺のサクラ（県指定天然記念物）

指定日 昭和34年2月9日
所在地 塩山市上萩原2678
所有者 雲峰寺

本県サクラの巨樹の有数なものとして指定された。樹種はエドヒガンである。

根 廻り	5.30m
目通り周	5.00m
樹 高	21.50m
枝 張 り(東)	8.00m
(西)	10.30m
(南)	9.00m
(北)	8.60m

満開は4月20日前後、花色淡紅色、花は上方の枝より咲き始め、下方に及ぶ。約700年前に植えたものと伝えられ「峰のサクラ」といわれて古来名あるものである。



遠照寺のアカマツ（県指定天然記念物）

指定日 昭和45年10月26日
所在地 北巨摩郡須玉町穴平2629
所有者 遠照寺

「鶴亀の松」もしくは「夫婦松」とも呼ばれているアカマツの二樹で、その美しい樹形と大木であるところから、天然記念物として指定されたものである。

○東側のもの	
根 廻り	4.85m
目通り周	3.22m
枝 張 り(東西)	9.70m
(南北)	7.90m
○西側のもの	
根 廻り	3.35m
中途にて	3分枝
枝 張 り(北)	7.90m
(南)	4.50m



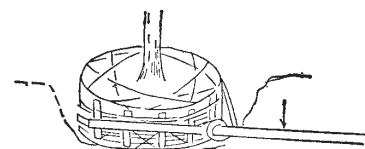
✕ モ

豆腐屋まわし

主として人力で植樹していた頃、植付ける作業内容によってそれぞれ呼び名がつけられていたが、その中に「豆腐屋まわし」または「豆腐屋さん」があった。

植穴に立て込んだ樹の向きを変えるとき、綱と丸太により立木のまま鉢を回す方法で、豆腐の豆を挽く動作にたとえた符丁。30年以上前までとのこと。

参考文献：上原敬二 樹木の移植と根廻し（加島書店 平成3年）



協 会 員 ・ 組 合 員 め ぐ り

株式会社 雨宮造園

代表取締役 雨宮 憲二
所 在 地 塩山市千野1210

当社は、現在取締役会長の雨宮憲雄が、昭和40年に創立し、個人庭園工事の請負・設計・施行・管理で、事業を行い現在に至っております。

株式会社雨宮造園の基本理念は「何事も心を込めて」であり、人と自然環境にやさしい緑化事業を永年の実績と確かな技術で、個人・企業・公共の場と、幅広い支持をうけるよう努力する所存であります。



中央造園土木 株式会社

代表取締役 今村三紀男
所 在 地 甲府市徳行一丁目9-27

当社は、昭和56年に現代表者が緑化産業に従事した経験を活かして、造園・土木工事の請負業として設立、現在に至りました。

設立時に於ては、時代のニーズに応える様、誠心誠意をモットーに“緑あふれる環境創り”の一翼を担えばとの意気込みで、日々努力挑戦して来しました。

昨今、都市のヒートアイランドやオゾン層の破壊を始めとする環境問題が叫ばれ、不安の増大する世の中に緑あふれる環境の持つ癒しの力が再確認されています。

このような時代だからこそ、緑あふれる環境の構築、提供することが私共の使命と考え、今後ますます精進を重ねる所存であります。



2004年 (社)山梨県造園建設業協会年間予定表

	月 例 行 事 予 定
1 月	・「ぞうえん山梨」第17号発刊 ・組合と合同新年会
2 月	・「花と緑の植木まつり」準備
3 月	・平成16年度予算総会
4 月	・「緑化キャンペーン」に協力 ・第25回「花と緑の植木まつり」
5 月	・平成16年度通常総会 ・(社)日本造園建設業協会総会 ・クリーンキャンペーン事業に協力 ・清里の森第15回「花と緑のフェスティバル」に協賛 ・浜名湖花博視察
6 月	・(社)日造協事務長会議 ・春季親睦会
7 月	・河川清掃美化運動(峡中、峡東、富士・東部振興局管内)
8 月	・従業員親睦ボーリング大会
9 月	・関東甲信造園建設業協会協議会(群馬県)
10 月	・「ぞうえん山梨」発刊準備
11 月	・「住宅フェア」出展 ・秋季親睦会

2004年 山梨県造園建設業協同組合年間予定表

	月 例 行 事 予 定
1 月	・指名参加願提出 ・協会と合同新年会
2 月	・「花と緑の植木まつり」準備
3 月	・第9回「中小企業組合まつり」
4 月	・第25回「花と緑の植木まつり」に協力
5 月	・平成16年度通常総会 ・清里の森第15回「花と緑のフェスティバル」に協賛
6 月	・春季親睦会
8 月	・経営事項審査 ・従業員親睦ボーリング大会に協力
11 月	・秋季親睦会

協 会 員 ・ 組 合 員 名 簿 (50音順)

会 社 名	住 所	T E L	F A X	E-mail/U R L
(株)浅間造園土木	富士吉田市松山1607	(0555) 22-4128	(0555) 22-4119	uptodate@pearl.ocn.ne.jp
(株)アセラグリーン	甲府市蓬沢町1171	(055) 233-4617	(055) 233-4633	green@acera-jp.com http://www.acera-jp.com
(株)雨宮造園	塩山市千野1210	(0553) 33-4048	(0553) 33-8039	amemiya@deluxe.ocn.ne.jp
(株)石原グリーン建設	甲府市高室町269	(055) 241-2001	(055) 241-0822	office@green21.co.jp http://www.green21.co.jp
(株)石和植木	東八代郡石和町川中島378	(055) 263-2070	(055) 262-4889	isawa@mbd.nifty.com
(有)今井ガーデン	甲府市里吉一丁目6-24	(055) 237-0027	(055) 226-8788	Gaden-imai.yugen@adecia.ocn.ne.jp
(有)石水造園	甲府市山宮町1354-4	(055) 252-6315	(055) 254-9110	
(株)雲松園	北巨摩郡小淵沢町3630	(0551) 36-2432	(0551) 36-4128	unshouen@nns.ne.jp
(株)帯金造園	甲府市池田二丁目11-12	(055) 251-4128	(055) 251-4194	zouen@obikane.ecnet.jp http://www.obikane.ecnet.jp
(有)荻野造園	甲府市伊勢四丁目1-12	(055) 235-4045	(055) 231-2020	ogino@peach.ocn.ne.jp http://www4.ocn.ne.jp/~ogino
(有)河口湖庭園	南都留郡富士河口湖町船津4940-1	(0555) 72-0635	(0555) 72-5435	yozan@kawaguchiko.ne.jp
(有)窪田造園	中巨摩郡敷島町中下条1673	(055) 277-2111	(055) 277-8881	kubotazouen@za.wakwak.com
河野造園土木(株)	甲府市下飯田二丁目5-27	(055) 222-4396	(055) 222-0555	konoz@apricot.ocn.ne.jp
甲南緑化(株)	甲府市高室町721	(055) 241-6146	(055) 241-6135	kounan@maple.ocn.ne.jp
(株)小林造園土木	山梨市上岩下字風表1595-28	(0553) 22-3553	(0553) 22-9539	
(株)三枝造園	富士吉田市松山1267-6	(0555) 22-1174	(0555) 22-2219	saigusazouen@r4.dion.ne.jp
三協造園(株)	西八代郡市川大門町4796	(055) 272-6000	(055) 272-6006	mail@sankyo-ls.co.jp http://www.sankyo-ls.co.jp
(有)清水造園	甲府市里吉一丁目7-21	(055) 233-9748	(055) 233-9758	fmyt@olive.ocn.ne.jp
(株)芝保	甲府市貢川本町18-20	(055) 237-7000	(055) 224-5555	shib0377@peach.ocn.ne.jp
(有)志村樹苗園	甲府市緑ヶ丘一丁目4-4	(055) 253-6983	(055) 253-6983	simura-sdl@mxi.ttcn.ne.jp
(有)須田造園	東八代郡八代町米倉729	(055) 265-2452	(055) 265-3691	suda@arion.ocn.ne.jp
中央造園土木(株)	甲府市徳行一丁目9-27	(055) 226-4525	(055) 226-4573	czd@maple.ocn.ne.jp
辻緑化土木(株)	甲府市朝氣三丁目3-16	(055) 233-9545	(055) 233-9542	tuji-r@xa3.so-net.ne.jp
(株)津々美造園	甲府市愛宕町146	(055) 253-2188	(055) 253-7835	tsutsumi@mx10.ttcn.ne.jp
(株)東勝緑産	東山梨郡勝沼町等々力1258-2	(0553) 44-2691	(0553) 44-3006	toukatsu@crux.ocn.ne.jp
(有)東香園	南アルプス市十日市場1828-1	(055) 282-0970	(055) 282-0952	tou-kon@eps.comlink.ne.jp
(株)仲村造園	北巨摩郡明野村小笠原3838	(0551) 25-2348	(0551) 25-2439	naka-la@mx2.nns.ne.jp
野尻造園建設(有)	韮崎市穂坂町宮久保5122-2	(0551) 22-0615	(0551) 22-2531	
(株)富士植木山梨支店	山梨市上栗原945	(0553) 23-1575	(0553) 23-1550	yamanashi@fujiueki.co.jp http://www.fujiueki.co.jp
富士観光開発(株)	甲府市相生一丁目1-12	(055) 273-5753	(055) 273-4919	http://www.fuji-net.co.jp/
富士急建設(株)	富士吉田市新西原五丁目2-1	(0555) 22-7151	(0555) 22-7153	fken@fujiky-kensetsu.co.jp http://www.fujiky-kensetsu.co.jp
(株)富士グリーンテック	甲府市富竹三丁目1-3	(055) 236-1600	(055) 224-5520	fujit@mx.b.mesh.ne.jp
(株)三井造園	甲府市中村町9-25	(055) 222-4128	(055) 231-2050	kensan.69@cnr.ne.jp
(株)宮崎造園	甲府市塩部一丁目13-12	(055) 252-8464	(055) 252-9945	miyazaki@ice-net.or.jp http://www.ice-net.or.jp/miyazaki
(株)明桃園	南アルプス市桃園968	(055) 282-4128	(055) 282-4190	
山梨ガーデン(株)	南巨摩郡増穂町最勝寺1514	(0556) 22-4181	(0556) 22-2359	y.garden@cronos.ocn.ne.jp